

○ 平成4年全国物価統計調査の概要

平成4年全国物価統計調査は、国民の消費生活において主要な支出の対象となる商品の小売価格・卸売価格、サービスの料金などを調査し、小売調査においては地域別、店舗の形態別、商店街の類型別価格指数等を、卸売調査においては業態別、取引段階別価格指数等を、それぞれ明らかにすることにより物価その他の経済施策の基礎資料を提供するものである。

この調査は、昭和42年に第1回調査を行って以来、46年、49年、52年、57年、62年に実施してきており、今回の平成4年調査は第7回目に当たる。

調査は、次に示すとおり、小売調査及び卸売調査からなっている。

I 小売調査

小売調査は、平成4年11月19日現在（ただし、生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物類については11月18日、19日及び20日の3日間）によって行い、全国の727市町村の地域内にある事業所のうちから選定した約20万の小売店舗を対象に、288品目（697銘柄）の商品及びサービスの販売価格又は料金のほか、店舗の形態等を調査した。

三重県では人口10万以上の全市とそれ以外の市町で調査を行った。（次表のとおり）

	Aブロック (北勢地域)	Bブロック (中南勢地域)	Cブロック (伊賀地域)	Dブロック (東紀州地域)
人口10万以上の市	四日市市 鈴鹿市	津市 松阪市 伊勢市		
人口5万～10万の市	桑名市		上野市	
人口5万未満の市		久居市 鳥羽市		尾鷲市
町 村	菰野町 大安町	明和町 阿児町	阿山町 青山町	紀伊長島町 御浜町

II 卸売調査

卸売調査は、平成4年11月9日現在によって行い、県庁所在都市（ただし、福島県、埼玉県、東京都、三重県、山口県にあっては、それぞれ郡山市、大宮市、東京都区部、四日市市、及び下関市）川崎市及び北九州市の地域内にある事業所のうちから選定した約1万2千の卸売店舗を対象に、38品目（134銘柄）の商品の販売価格・販売数量のほか、店舗の形態、取引方法等を調査した。